

とよさか

「未来を切り拓く子どもの育成」
～夢に向かって進む八田の子～
八田ブロック共通【めざす児童像】

- ・自ら学び、自ら考え行動する子ども
- ・自分を大切に、人を大切にする子ども
- ・健康で、たくましく生きる子ども

令和2年6月16日（火）発行

新学習指導要領全面実施 ～これまでと評価の仕方も変わります！～

気象庁は、6月10日、近畿や中国、東海地方が梅雨入りしたとみられると発表しました。近畿では平年（6月7日）より3日遅れで、昨年より17日早いそうです。

6月ごろに降り続く雨を梅雨といいますが、その由来は諸説あるようです。1つの説として、梅の実の熟すころに降る雨から、梅雨とよばれているとありました。では、どうして「ばいう」と呼ばず「つゆ」とよぶのでしょうか。調べてみますと、梅の実から滴る露が「梅雨（つゆ）」と呼ばれるようになったという説、やわらかく爛熟しきった梅の実が、枝から落ちて潰れてしまう様子「潰（つ）ゆ」からきた説などがあるようです。このように身の回りには「なぜだろう？」と思ふことがたくさんあります。こういった気付きや疑問が自ら学んだり、調べたりする学びに向かう力となるのだと思います。

2年生は、地域の野菜名人（塩尻様）にお世話になり、生活科の学習で野菜を育てています。エダマメ、キュウリ、ナス、トウモロコシ、オクラ、ミニトマト、サツマイモ、ホウレンソウといろいろな野菜を一人一種類植えました。「葉に元気がないね。水が足りないんじゃないかな？」、「葉が黄色っぽいよ。肥料が足りないのかな？」、「葉に虫がついているよ。家に薬があるかも？」、「野菜によって花の形や色が違うんだね。」など、子どもたちは毎日の水やりや世話の中でいろいろな気付きや発見をしています。中には野菜先生として、他の子どもたちから頼られている子どももいます。まさに、自ら学び、自ら考えようとしている子どもたちです。

さて、ご承知のとおり、小学校の学習指導要領が2年間の移行期間を経て、今年度から全面実施となりました。これまでから大切にされてきた「生きる力」を育むという目標は変わりませんが、予測困難な時代になっても、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現していく力の育成が重要視されています。そこで、児童が学校教育の中で身に付けるべき力について「実際の社会や生活で生きて働く『知識及び技能』」、「未知の状況にも対応できる『思考力・表現力・判断力等』」、「学んだことを人生に生かそうとする『学びに向かう力・人間性等』」の3つに整理されました。

これに合わせて学習評価もこれまでの4観点「知識・理解」「技能」「思考・判断・表現」「関心・意欲・態度」から、新たに3観点「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」に変わり、学期末にお渡しする通知表も各教科でこの3観点到った評価となります。

評価については、6月26日の学級懇談会でも説明させていただきます。また、学期末には「通知表の内容と見方について」という文書を配布いたします。ご不明な点等ございましたら、学校までお尋ねください。



校長 小嶋 康弘

西八田の小窓

4年生 ひょうたん苗木植え（5月27日）

4年生が理科の学習でヒョウタンの苗を植えました。

毎年お世話になっている地域の先生に来ていただき、ヒョウタンについて、苗の植え方や世話の仕方など丁寧に教えていただきました。



5年生 田植え（6月2日）

5年生が総合的な学習の一環で、田植え体験を行いました。今年も上八田地域の塩尻様をはじめたくさんの方々の地域の皆様にお世話になり、田植を教わりました。また、トラクターにも乗せていただき、子どもたちは楽しみながら学ぶことができました。田んぼに入ったときは、その感触に思わず声をあげていた子どもたちも、田植が始まると、田植綱にそって、丁寧に、丁寧に苗を植えていました。秋の収穫が楽しみです。

